

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立永盛小学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	郡山市立永盛小学校（6学年・50名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ 運動会 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックに対する理解を深めたり、競技を体験したりすることにより、スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツや運動に進んで親しもうとする児童を育てる。
5 取組内容	<p>「東京五輪音頭 - 2020 - 」を全校生で踊ろう！【10月3日】</p> <p>令和元年度のオリンピック・パラリンピック教育推進事業で国馬善郎先生（郡山市ホッケー協会会長）から教えていただいた「東京五輪音頭 - 2020 - 」を全校生で練習し、10月3日の運動会で発表しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昨年度教わったときの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下級生に教える様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>白組の児童が踊る様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>赤組の児童が踊る様子</p> </div> </div>

車いすバスケットボール体験【12月14日】

車いすバスケットボール「チーム・アース」の選手を講師に迎え、車いすバスケットボール（パラリンピック競技）の体験を通して、スポーツの意義や価値などへの理解や関心を高めることができました。また、障がい者を含めた多くの人たちが生涯を通じて主体的にスポーツに参画することの大切さも学びました。



1組の児童が説明を聞く様子



1組の児童が体験をする様子



2組の児童が説明を聞く様子



2組の児童が体験をする様子

東京オリンピック・パラリンピックの特別学習【1月14日】

昨年度に引き続き、国馬善郎先生を講師に迎えて、東京オリンピック・パラリンピックの特別学習を行いました。国馬先生の経験をもとにした講義を聞いたり、貴重な映像資料を見たりして、オリンピック・パラリンピックの歴史と、東京オリンピック・パラリンピック2020への理解を深めることができました。



国馬先生の講義の様子



映像を見る児童の様子



オリンピックの資料



資料を見ている児童の様子

<p>6 主な成果</p>	<p>車いすバスケットボール体験を通して、スポーツの楽しさや仲間の大切さを感じることができました。 「東京オリンピック・パラリンピックの歴史と東京オリ・パラ2020」についての特別学習を通して、スポーツの意義や価値への理解を深めることができました。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>学習内容が難しいので、児童の発達段階に合わせて理解が深まるように、学校・学年の担当と事前に打ち合わせを行い、授業実践を行ってきました。 机上の学びで終わることがないように、体験活動を十分に取り入れました。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>講師を招聘する際に、選定で難しい面があり、郡山市スポーツ振興課の担当者にお世話になりました。 学年・内容によっては、教育課程上での位置づけが難しい面が考えられます。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で、オリンピックやパラリンピックとの交流が実施できませんでした。可能であれば、次年度に子どもたちとの交流の場面(リモートでもよいので)が設定できればと考えています。</p>